

新型コロナウイルスを踏まえた 今後の自治体経営

(事務局ヒアリング概要)

～令和3年度予算の重点項目に向けて～

1. 今後、社会がどのように変わるか

項目	動き
オンライン化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ オンラインビジネス、ショッピング、キャッシュレス、テレワーク拡大→ 個人・機密情報の取り扱い変化→ 消費性向の変化→ ネット犯罪の増加。プログラミングスキルの需要、価値の上昇→ 成果主義高まる。KPIで数値化。強いリーダーシップが必要
経済の変化	<ul style="list-style-type: none">・ デフレ、株価下落 → 大恐慌 → GDP減少
情報入手	<ul style="list-style-type: none">・ GPSで管理する社会への許容が進む・ 世界の動向を知るため、英語がいっそう重要に
人の心・住まい方	<ul style="list-style-type: none">・ 未知に対する不安感、ストレス増大・ 考え方がいっそう計画性・効率性重視、本質重視に・ 前向きになるため、心温まる情報を求める・ 高齢者と若い世代が分かれて生活するスタイルに・ 住まい方（生き方）や取り巻く環境を見直していく

2. 民間事業者としての今後の動き

項目	動き
オンライン化の推進	<p>(学校)</p> <ul style="list-style-type: none">・オンライン授業は可能。大人数の場合、参加状況や理解度の把握が課題。 <p>(民間)</p> <ul style="list-style-type: none">・オンラインによる働き方改革<ul style="list-style-type: none">→動画配信、テレワーク、時差出勤など、働き方の多様性が広がる→非効率的な面もあるが、事業所の維持管理コスト減などメリットも有→情報の取り扱いに注意必要・マネジメントを上司から部下に権限委譲していく・海外とより繋がるようになる
3密を意識した行動対応	<ul style="list-style-type: none">・ドライブスルー、テイクアウト等、空間に配慮した経営スタイルへ・消費行動もより短時間・計画的に→需要が減る・イベントやテーマパークのオンライン化。体験から動画配信・VRへ
保護主義の助長	<ul style="list-style-type: none">・食糧自給に関わる農産物等の自国内生産保護。一定の備蓄確保体制の整備。・チャイナリスクや保護主義にそなえるための産業構造へ再構築。・日本ならではの産業へ投資加速（薬、高度部材、熟練工関係の技術）

3. 自治体に求められること①

	ご意見	市の対応案
<p>企業支援</p> <ul style="list-style-type: none">・オンラインビジネス・買い物行動の変化・生活に密着した企業消失	<ul style="list-style-type: none">●自粛の緩和に伴う人々の動きを観察、マーケットの変化等予測<ul style="list-style-type: none">→商店や中小企業の支援策、「体験」の商品化→商店の価値を高める方策、オンライン化推進→業態転換・人材育成・技能講習などの支援→インバウンドよりも国内客層をつかむ●生活に密着した企業への支援ができないか	<ul style="list-style-type: none">・現状に対する経済支援・今後の経済変化に向けた、オンライン化等支援策の検討
<p>公民連携</p>	<ul style="list-style-type: none">●ボランティアではなく企業にとってブランド価値があがるメリットを打ち出し、互いに情熱を与え合えるように●異業種間で、余剰人材を活用して助け合う仕組みづくり●課題を出して外部から解決策を募る提案の場づくりを。企業にとっても情報源になり、次の一步を踏み出せる。	<ul style="list-style-type: none">・公民連携プラットフォームの構築

4. 自治体に求められること②

	ご意見	市の対応案
広報戦略・情報発信 ・人の心（不安）	<ul style="list-style-type: none">●市長の直接の声をリアルに届ける→安心感●報道は府、市はアイデアを活かした「豊中発」の取組発信●情報収集は協働で。専門的人材にすぐ相談できる体制を。人的ネットワークを拡大するため、頻度の高い訪問・対話●情報発信の方法の再検討 (自治体HPのデザイン、SNS、YouTube広告などの活用)●市民が納得できる情報発信	<ul style="list-style-type: none">・スマホを活用した分かりやすい情報発信
サービス向上	<ul style="list-style-type: none">●窓口のオンライン、キャッシュレス化の推進 (はんこ文化見直し、電子署名など) (ネット犯罪の増加→個人情報の取扱い、プログラミングスキルの向上)●オンライン授業の環境整備 (1対多の場合、理解状況をどう把握するかが課題)	<ul style="list-style-type: none">・申請のデジタル化、窓口に来ない仕組みの構築・オンライン授業の進め方検討

5. 自治体に求められること③

	ご意見	市の対応案
組織管理	<ul style="list-style-type: none">● 庁内システムや仕事のスタイルの改善（効率的な働き方、オンラインの推進）● 職員のデータ収集・分析スキル向上。特にGISデータ重要● リーダーが目標を明確化→組織が同じ方向を向くことが大切	<ul style="list-style-type: none">・ モバイルワークの推進・ 職員のICT知識・技術の向上・ オープンデータの拡大
職員の危機管理能力の向上	<ul style="list-style-type: none">● マニュアルのない状況下で、自治自立の精神で対応する能力● 首長と職員のリーダーシップ（情報通信・法務・フットワークが軽く、産学連携のコーディネートができる若手）● 未曾有の課題に試行しながら取り組む環境適応能力● マネジメントの権限移譲	<ul style="list-style-type: none">・ 権限移譲による各職員の能力育成